

責任ある鉱物調達方針声明

子会社を含む Avnet, Inc. (総称して「アヴネット」) は、責任を持って鉱物を調達し、コンゴ民主共和国 (DRC) または隣接国を含む紛争影響地域および高リスク地域 (CAHRA) での武力紛争または人権侵害に寄与する鉱物の調達を回避することを約束します。アヴネットのアプローチは、サプライチェーンのトレーサビリティと透明性を促進し、紛争のないグローバルサプライチェーンに向けて移行することです。

アヴネットは、紛争または人権侵害に資金提供または利益をもたらす紛争鉱物の使用を特定、削減、最終的に排除することを目的とした Responsible Business Alliance (RBA) の責任ある鉱物イニシアチブ (RMI) を支持し、責任ある供給元を検証する責任ある鉱物保証プロセス (RMAP) を支持します。アヴネットは、サプライヤーにも同様にそのような取り組みを支援するよう奨励しています。「紛争鉱物」には、タンタル、スズ、タングステン、金が含まれ、多くの電子部品やコンピュータ製品に使用されています。

ドッド・フランク・ウォール街改革・消費者保護法第1502条および米国証券取引委員会 (「SEC」) の規則に基づき、アヴネットは、製造または製造委託した製品に、DRCまたは隣接国の鉱山から調達された製品 (「対象製品」) の機能性または生産に必要な紛争鉱物が含まれているどうかを毎年フォームSDに報告する必要があります。コンゴ民主共和国または隣接国からの紛争鉱物の採掘と貿易からの収入は、人権侵害を行う武装グループに資金提供または利益をもたらすと考えられています。

アヴネットは、グローバルなテクノロジーディストリビューターであり、ソリューションプロバイダーです。非常に限られた範囲で、アヴネットは製品を製造または製造委託しており、その一部は対象製品です。

しかし、アヴネットは紛争鉱物の下流消費者です。それは鉱山、製錬所または精製業者から直接購入するものではなく、そのような市場参加者とは何段階も離れたところにいます。アヴネットは、武装グループに直接的または間接的に資金提供または利益をもたらすCAHRAから調達された紛争鉱物を含む製品の購入を回避するとともに、紛争のない鉱山に対する事実上の禁輸措置による意図しない結果を最小限に抑えるよう努めます。アヴネットはまた、サプライヤーが責任ある供給源からのみ鉱物を調達することを期待しています。

アヴネットは、紛争影響地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンに関する経済協力開発機構 (OECD) デューデリジェンスガイダンス (OECDフレームワーク) に準拠した合理的な原産国調査 (RCOI) およびデューデリジェンスを毎年実施しています。下流の消費者として、アヴネットは、サプライヤーがRMIによって開発された最新の紛争鉱物報告テンプレート (CMRT) を利用して、アヴネットに供給する製品に使用される紛争鉱物の原産国と供給源を適切に検証することを期待しています。アヴネットはまた、サプライヤーがサプライチェーン全体でこれらの取り組みを推進するために、責任ある鉱物調達に関して同様のポリシー、デューデリジェンスフレームワーク、および管理システムを採用することを奨励しています。

[2022年5月更新、2018年1月以前の更新]

[ポリシーは、メンバーが上級管理職である紛争鉱物ガバナンス委員会によって毎年見直されます。]